**主任介護支援専門員研修　演習９日目　演習シート１－１.１－２**

地域課題（目標）と手だてを考える

９日目　演習１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地域の抱える問題状況を具体的に導き出す。導き出された問題状況に附番し整理する。  ※ 「問題」は望ましい状態と現状との乖離の原因。  ※ 「問題」には２つの視点がある。１つは「地域の状態像(地域が〇〇になっている)」もう１つは「手段的問題(〇〇がない　※ 人的・物的・制度的環境の不備、知識、認識の欠如等)」問題整理をするときにこの２つの差異を念頭に | 整理された問題状況に表題をつける（問題の明確化）  ※  ①グループ→「〇〇」  ②グループ→「〇〇〇」 | 明確化された問題を課題（目標）に転換する。  　※ 「課題」とは望ましい状態像。 | 目標達成のための「手だて」を考える。  ※ 主任ケアマネジャーを主語に、誰と、どこで、何を、どのように  （具体性） |
| 例：認知症の人が増えてきた（地域の状態像）自治会が機能しなくなってきた（手段的問題） | 例：① 認知症の人の死亡事故事例があった。  ① 地域住民の認知症の人に対する苦情があった。→地域住民が認知症に対して無関心。 | 例：地域住民が認知症に対して無関心。→認知症の人がこれからも地域で暮らしていける（望ましい状態像）、認知症について学ぶ場作り（手段的目標） | 例：主任ケアマネジャーが、〇〇と一緒に、〇〇にアプローチし、〇〇を創る。 |